

全国地域リハビリテーション合同研修大会In 札幌 2022

『未曾有の災害を超えて、地域リハを
どう守りどう発展させる』

2022年

7月 9 (土) - 10日 (日)

【名誉大会長】 石合 純夫

札幌医科大学 医学部

リハビリテーション医学講座 教授

【大会長】 光増 智

中村記念南病院 リハビリテーション科

【会場】 札幌医科大学 講堂

(現地&オンラインのハイブリッド開催)

【主催】 全国地域リハビリテーション研究会

全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会

【後援 (予定)】

北海道、札幌市、北海道理学療法士会、北海道作業療法士会、北海道言語聴覚士会、
北海道医師会、北海道看護協会、北海道介護支援専門員協会、他

大会事務局 社会医療法人医仁会中村記念南病院 札幌市南区川沿2条2丁目3-1

TEL:011-573-8555 (代表) FAX:011-573-8385

全国地域リハビリテーション合同研修大会 in 札幌 2022

テーマ：「未曾有の災害を超えて、地域リハをどう守りどう発展させる」

日 時：2022年7月 9日（土）12：40～17：30

10日（日） 9：00～12：30

会 場：札幌医科大学 臨床講堂（ハイブリッド開催）

※時刻は、若干変更になる可能性があります。

1日目 7月9日（土）

12：40 開会挨拶（柳 尚夫先生）・大会長挨拶（光増 智先生）

13：05～ 講演①「北海道の地域リハビリテーション：地域特性と経過・現状について」

講師：石合 純夫 先生（札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 教授）

13：40～ 講演②「コロナ禍における これからの地域リハビリテーション」

講師：平田 好文 先生（熊本託麻台リハビリテーション病院 理事長・院長）

14：45～ 講演③「地域リハビリへの期待 ー介護支援専門員の立場からー」

講師：大島 康雄 先生（北海道介護支援専門員協会 会長）

15：20～ 講演④「道北名寄市におけるリハビリテーション職と保健師の連携（仮）」

講師：橋本 いづみ 先生（名寄市健康福祉部こども高齢者支援室地域包括
支援センター 所長）

16：00～17：30 シンポジウム1 「北海道における先進的な取り組み」

「手稲溪仁会の取り組み（仮）」 松本 将輝 先生（手稲溪仁会病院）

「後志地域リハにおける医療介護連携の取り組み」 岩永 輝明 先生（札幌・すがた医院）

「医商連携モデルの可能性 ～函館市でのお出かけリハビリの経験から～」

竹内 光 先生（平山医院）

「恵庭市での取り組み-いきいき100歳体操の地域展開（仮）」 佐藤 和彦 先生

（恵庭市保健福祉部）

2日目 7月10日（日）

9：00～10：30 シンポジウム2 「コロナ禍に負けない取り組み」

「コロナ禍でやった取り組み 全部おしらせします。」 大友 宣 先生（静明館診療所 医師）

「コロナ禍におけるフレイル予防について」 飛田 顕吾 先生（茨城県大洗町福祉課）

「コロナ禍の訪問リハビリテーション（仮）」 古田 哲朗 先生（ゆみのハートクリニック）

「コロナ禍の釧路市おたっしやサービス（仮）」 演者は4月に決定（釧路市保健福祉課）

10：40～ 講演⑤「コロナ禍における介護予防事業の展開について」

講師：田中 明美 先生（厚生労働省老健局 認知症施策・地域介護推進課
地域づくり推進室 室長補佐）

11：15～12：15 シンポジウム3 「災害リハビリと地域リハビリテーション活動」

「胆振東部地震：継続支援の現実（仮）」 木賊 弘明 先生（白老町子ども発達支援センター）

「令和2年7月豪雨（熊本人吉市）のコロナ禍における活動」

竹村 周記 先生（球磨地域リハビリテーション広域支援センター）

「胆振東部地震：手稲溪仁会の活動（仮）」

成田 悟志 先生（手稲溪仁会病院）

12：20 閉会挨拶（松坂誠應先生）